

3. それぞれの段階での取組

本章では、「きっかけ」「はじめの一步」「つぎの一步」「さらに」の各段階での考え方や取組の事例を示しました。

「持続可能な地域づくり」を先進的に進めている地域でも、最初のきっかけや取組はありふれた小さなことが多いようです。小さな取組を継続し、地域づくりにまでに拡げているようです。まず、身近なところにきっかけを見つけ、小さなことから実際に取組を始めることが大切です。

「(1) きっかけ」では、きっかけを探すためのポイントと、先進的な地域でのきっかけを整理しました。

「(2) はじめの一步」では、さまざまな取組と関連する事例を紹介しています。

「(3) つぎの一步」では、取組を深め、拡げて、地域づくりにつなげるためのしくみづくりを示しました。

「(4) さらに」では、取組を継続し、改善し続けるための方法を示しました。

なお、事例の詳細な内容は、「事例集」に紹介されています。また、本章では、段階ごと、手法ごとに整理していますので、複数の段階、手法にかかわりのある事例は、繰り返し紹介しています。

それぞれの段階での取組

「持続可能な地域づくり」の地域づくりの進めるうえで、4つのプロセスごとに考え方や取り組むための手法があります。本章では、それらについて事例を交えながら紹介していきます。

きっかけ

- 「持続可能な地域づくり」を進めるうえで入口となるテーマを考えます。
- 「きっかけ」については、「地域課題着目型」と「地域特性活用型」の二つを考えました。

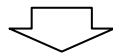
〔地域を取り巻く要因〕

内的要因：

〔例〕地域で発生している問題、地域で開催したイベント、地域資源、歴史的経験 など

外的要因

〔例〕社会的に発生している問題、社会的に取りあげられている取組 など



〔テーマを見つける〕

〔テーマ例〕地球温暖化防止・エネルギー、交通・大気、ものの循環、水質・水循環、環境問題を克服した経験、生物多様性・自然、歴史・文化 など

はじめの一步

- 「はじめの一步」では、「調べる」-「考える」-「取り組む」のサイクルを提示します。

「調べる」：地域の資源や負荷を調べるとともに、地域の特徴を把握する

〔手法例〕フィールドワーク、インタビュー、ワークショップ など

「考える」：地域の共通理解づくりのために課題を整理し、地域像を考える

〔手法例〕宣言・宣誓をつくる、条例・計画をつくる など

「取り組む」：調べて考えたことをもとに、地域のみんなで取り組む

〔手法例〕環境教育・学習、住民参加、イベントの開催、シンボルとなる施設の整備、表彰・受賞、コンテストへの応募、率先行動、自主的な活動への支援、環境負荷の小さい基盤整備、環境アセスメントの手法、環境を保全するための整備 など

つぎの一步

- 取組を「深める」-「広げる」-「支える」ようなしくみづくりを提示します。
- 地域での各主体の協力・連携を重要だと考えるとともに、継続的な取組となるようなしくみをつくることを目指します。

「深める」：取組の内容を深める（手だてを増やす、効果を高める）

「広げる」：取組の幅を広げる（主体を増やす、テーマを広げる）

「支える」：取組を支えるしくみをつくる



● パートナーシップ：各主体が信頼しあい協力する

〔手法例〕計画、構想などの策定への参加・参画、パートナーシップによる活動、住民・事業者・民間団体の協力体制づくり、行政内の横断的な組織づくり

● ネットワーキング：地域を越えて協力の輪を広げる

〔手法例〕広域でのネットワークづくり、同じテーマを取り組む地域の協力

● 人材育成：人材・組織を育成し、活動の支援をする

〔手法例〕リーダーとなる人材・中心となる組織の育成、民間団体の活動の支援

● 情報提供：知識やノウハウの提供および蓄積をする

〔手法例〕専門家のネットワークづくり、過去の経験の蓄積と活用

● しくみづくり：さまざまな取組を支えるためのルールやしくみをつくる

〔手法例〕ルールをつくる、自主的な取組を支えるしくみをつくる、情報を提供するしくみをつくる、住民参加のしくみをつくる

さらに・・・

- 「計画する」-「行動する」-「見直す」のサイクルを提示し、総合的、体系的な「持続可能な地域づくり」を目指していきます。

● 計画・行動のフォローアップ：

「持続可能な地域づくり」を目指した計画、行動の成果や課題を整理、評価し、取組を地域に根付かせるとともに、体系的なものとしていく

〔手法例〕環境報告書の作成、委員会の開催、ISO14001の取得 など